

輝け！天神山っ子Ⅱ

Ⓟ



令和5年9月14日(木)

コミュニティスクール春日市立天神山小学校

NO15

校長 月原 浩

令和5年度 CS 春日市立天神山小学校 重点目標

「仲間」とつくる 素敵な1日

～気づき・考え・行動する～

ほほえましい あしあと・・



少しわかりにくいと思いましたが、写真を大きくして掲載しています。上の写真はなんだと思われますか？実は、1年1組諸隈学級の学習の足跡なんです。教科は、図画工作科「さらさらどろどろきもちいい」と生活科「なつとあそぼう」の教科横断的な学習です。教科横断的な学習とは、子どもが、ある教科等の学びを他の教科等の学びで活用したり関連づけたりすることで、学びが深まったり、活用できることを実感できたりするような学びです。

上の写真から1年生の子どもたちのどのような姿が思い浮かびますか？暑い夏の日、冷たい水を使いながら、全身で砂と戯れる子どもたち。砂のさらさら感を楽しむ子ども。少し湿った砂を楽しむ子ども。そこから泥団子を作る子ども。砂山を高く高く積み上げる子ども……。

始めは個人で楽しんでいたのが、いつの間にか友達との協同作業……。山と山をつなぐ道をつくる子どもたち。砂山にトンネルをほり、手と手が触れ合い笑い合う子どもたち。

私が一番感動したのは、左下半分の跡です。無数のぼこぼこ。カップに砂を入れ、プリンのようにひっくり返して作った作品。おそらく誰か一人が始め、それを見ていた誰かが「面白そう」と思い後続く。それを見ていた周りの子ども「面白い」と呼応し、次々に作成されていく……。他の子どもたちもそれを壊さず残していたというのが微笑ましいですね。

協力の「協」の字は、三つの力を+と書きます。一人でやると大変なこともみんなで協力すればすごい力になります。造形遊びを通して、様々な事に気づき、感じた素敵な学習だったと思います。